

(様式1)

平成20年度 学校パワーアップ全体構想 荒川区立第三中学校

〔荒川区学校教育ビジョン〕

「未来を拓き、たくましく生きる子どもを育成する」

〔児童・生徒の実態〕

本校の生徒は大変素直で礼儀正しく、大きな問題行動を起こすことはない。ノーチャイムでの集団行動もしっかりでき、区の学力向上調査での大躍進、連合体育大会での準優勝等で大きな自信をつけている。今後、一層の飛躍が期待できる。

〔学校の教育目標〕

人間尊重の精神に基づき、校訓「人間としてかがやく」をめざし、知性と感性に富み、健やかで、たくましく生きる生徒を育成する。

〔学校パワーアップのための基本方針〕

週29時間授業による授業時数確保、教科教室型施設を活用した授業改善に取り組み、教育品質第一で、質の高い教育活動を提供する。小中一貫教育研究推進校の研究を進める中で、小中の一貫した指導方法の確立、指導計画の作成を行い、教員の授業力向上を目指す。「校内ハローワーク」「勤労留学」「環境教育」等を一層発展させるとともに、吹奏楽部を立ち上げ「音楽が流れ、歌声が響く学校」づくりを行う。

〔学校パワーアップのための重点〕

〔学力向上マニフェスト〕

基礎学力の向上、発展的な学習の充実のため、これまでの補習活動の増強、各種検定のレベルアップのため、学力向上のための戦略的な5つ施策を実施する。

- ①外部人材を活用した休日、放課後の補習を拡大する。
- ②授業内におけるアシスタントティチャーを導入し、きめ細かな指導を徹底する。
- ③小中一貫教育研究指定校の指導大学教授の規定外の派遣（英語・算数数学）による研修の拡大。
- ④中学レベル以上の各種検定のための教材・書籍の充実を図り、高レベルの資格の獲得を支援する。
- ⑤図書館の授業利用促進のため、必要に応じて同種同内容の書籍の充実を図る。

〔創造力あふれる教育の推進〕

躍動感溢れる学校づくり・音楽が流れ、歌声が響く学校を目指す。

- ①今年度立ち上げた吹奏楽部の指導者を要請し、短い期間である一定レベルまで引き上げる。年度後半には、地域行事での披露を目指す。
- ②吹奏楽部立ち上げに伴う、消耗品、楽器等の購入を行う。（不足分）
- ③教科の和楽器指導を充実させるため、教科指導での指導者の要請と計画的な和楽器の購入を推進する。
- ④合唱コンクールレベルアップを図るため、練習段階から合唱の指導者を要請する。不足している備品の充実を図る。
- ⑤ボランティア活動、環境交通等の環境教育を推進する。

〔未来を拓く子どもの育成〕

- ①教科教室型校舎を生かした「おもしろ探究授業」の充実を図る。昨年同様、理科を中心に、スポーツ選手、ものづくり、食育の講師を要請し、授業への興味関心を高める。（7年目）
- ②総合的な学習の時間で「環境」について、機具等を使い二酸化窒素の残量調査等を実施する。（6年目）。国交省の「環境交通モデル地区」の研究を推進する。講師を呼び環境学習を推進する。（2年目）
- ③「校内ハローワーク」を全校で実施する。講師陣30名超を迎え、勤労留学に繋げるキャリア教育の充実を図る。（7年目）
- ④マレーシアと生徒会を中心とした生徒間交流を促進する。（1年目）